



学校法人 四国高松学園

〒761-0194 高松市春日町960番地

TEL (087)841-3255 FAX (087)841-3064

三木町と連携協力に関する協定を締結

地域連携活動



3月26日、三木町と本学との連携協力に関する協定式があり、三木町の伊藤町長と本学の佃学長が協定書にサインした。

協定式に先立ち、三木町の伊藤町長、高西副町長、森教育長と本学の佃学長、澤田高松大学副学長、出木浦高松短期大学副学長が今後の連携協力について懇談した。

この連携協力に関する協定のもと、相互の人的・知的資源の交流・活用を図りながら、個性豊かな地域社会の形成および地域課題の解決を図り、地域社会の振興と発展に寄与することをめざすこととし、まずは「子育て支援」について連携を進めていく。

大学コンソーシアム香川の活動報告会を開催

3月29日、本学で大学コンソーシアム香川の活動報告会を開催した。大学コンソーシアム香川は、香川県内の大学、短期大学、高等専門学校が相互に連携・交流し、県内の教育の質的向上を推進するとともに、地域社会の発展に寄与することを目的として、2015年に設立したもので、このたび、大学コンソーシアム香川の活動を広く知っていただく機会として、初めて活動報告会を開催することとなった。

県内の大学等から19人が出席し、大学コンソーシアム香川の紹介、2019年度から2023年度までの中長期計画、2019年度活動報告・評価と2020年度活動報告について事務局より説明があり、最後に大学コンソーシアム香川の会長（佃学長）より謝辞が述べられた。



令和3年度入学式挙行政



4月2日、令和3年度入学式を体育館で挙行政した。昨年と同様に、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、出席者を入学生と職員に限定し、規模を縮小して実施した。

佃学長は、「建学の精神を自らの学びの指針として、「地域で活躍できる人材」となることをめざし、地域に学び、地域を愛し、地域で信頼される人間となるよう、今後の学生生活を充実させ、自己実現を図っていたいただきたい」と新入生を激励した。

新入生を代表して、笠井月音さん（発達科学部1年）と汐崎月陽さん（秘書科1年）が宣誓。笠井さんは、「先生方や仲間との対話に励みつつ、ゼミナールやボランティアなど様々な活動に積極的に参加していきたい」、汐崎さんは「さらに高く、大きな目標を定め、前向きに挑戦していきたい」と決意を述べた。

2021 オープンキャンパス

6月19日(土) 7月17日(土) 8月21日(土) 9月18日(土) 10月16日(土)

※無料送迎バス(要予約)

※新型コロナウイルス感染拡大状況などにより、中止またはプログラムを変更する場合があります。詳細については、本学ホームページをご確認ください。



お問い合わせ先 入学センター ☎0120-78-5920

新入生の抱負

新入生の方に将来の抱負を語っていただきました。めざす未来へ向かって1歩ずつ。新入生のみなさん、本学へようこそ。

高松大学 発達科学部

◆実践力を備えた 保育者をめざして



発達科学部子ども発達学科1年 笠井 月音
私は、4年 後に教職員の皆様や家族に

保育者として成長した姿を見ていただけるようになりたいです。子どもたちが登園して楽しいと感じ、保護者もしっかりサポートできる保育者になりたいと考えています。そのため、保育者に必要な専門的な勉強はもちろんのこと、保育実習やげんき村の活動にも力を注いでいくつもりです。保育実習では、先生方が子どもたちと、どのように接して指導しているのかをしっかりと見て体験し、実践力を備えていきたいです。げんき村の活動では、地域や保護者の方々との触れ合いやつながりを大切にして取り組みたいです。それにより、子どもたちだけでなく、地域や保護

高松大学 経営学部

◆充実した学生生活を



経営学部経営学科1年 長友 敬祐
私は、大学生活を通じて、社会に貢献できる力を持った人材になりたいです。加えて、様々な行事を通して、学友達とともに笑い励ましあう、刺激に満ちた日々を過ごしたいと思っています。

者の方々との関わり方も幅広く身につけていきたいです。これから4年間、仲間や先生との対話を大切にして信頼関係を築き、充実した学生生活を送りたいと思います。 それらのことを達成するために、大学生活では、まず、勉学に励みたいです。高校時代はあまり勉学に力を注ぐことができませんでしたが、高校時代と同じ轍を踏まないためにも、経営学に関する幅広い分野を学びたいと思っています。その一環として、資格や検定にも積極的に挑戦し、自分の努力を形にしていきたいです。

して経験を積み、充実した学生生活を過ごしていきたいです。 高松短期大学 保育学科 ◆保育者への新たな一歩 保育学科1年 吉田 一花
私には夢があります。それは、大好きだった保育園の先生に「先生に憧れて保育者になりました。」と伝えることです。今春、そのための大きな一歩を踏み出すことができました。保育学科では、専門知識や保育観、音楽・造形・身体表現などの保育技術はもちろんのこと、幅広い教養も身につけられるよう、情熱をもって真剣に学び続けたいと思います。困難にぶつかることがあっても、同じ志をもつ個性豊かな仲間たちと助け合い、切磋琢磨しながら、人間としても大きく成長していきたいです。 すべての子どもたちは、好奇心旺盛で、豊かな感性と無限の可能性に満ち溢れています。乳幼児期は生きる力を育むとても大切な時期だけに、保育者の役割は、責任重大です。だからこそ、一人ひとりの発達過程を大切に、常に温かいまなざしで寄り添い、

高松短期大学 秘書科

◆医療事務員をめざして



秘書科1年 汐崎 月陽
私の目標は、これからはじまる2年間の学生生活において、社会人として必要なビジネスマナーや医療事務の専門知識を身につけることです。入学準備セミナーに参加して、今のままの勉強方法では授業についていけないと感じました。そこで、計画的に勉強することはもちろん、授業中に知識を身につけることが大切だと考え、授業中にメモをとることを今まで以上に意識するようにしました。こうして、知識を積み重ね、秘書科での新しい学びに対応できるようにしたいです。



将来は、医療事務員をめざしており、その際には、本学で学んだ

ことを十分に生かせるよう、様々なことに挑戦していきたいです。

探訪/研究室

◆自己紹介



経営学部 岡田 龍哉
高松に来て5年目に入りました。もともと多くの人が会計学を楽しいのばいのに、と思っ日々熱意を持って仕事をしています。

●ゼミナールの特徴

学生主体のゼミだと思っています。私はお手伝いする程度で、学生が自主的に学び、楽しむことを尊重するゼミです。

●ゼミ生へ一言

何でも楽しめるいいのではないのでしょうか。難しいことでも、楽しもうと思っ取り組めば本当に楽しくなります。

●二十歳の時の自分

一日中ギターを弾き、徹夜で麻雀を打つ毎日でした。その後、に会計学と出会えなければと考えると怖くなりますが、今もギターを弾けて麻雀を打てる自分で良かったと思っています。

キラリ☆輝く人 インバウンド実務主任者認定試験合格



秘書科2年
赤瀬 唯さん

1年生前期に、「グローバルビジネス論」で検定に関する知識を学び、後期に直前対策の補習を受け、令和2年11月15日にインバウンド実務主任者認定試験を受験し、合格した。

「常に変わる外国の動向や多くの法律を覚えることは大変だったが、外国と日本の関係について深く知ること、異文化の捉え方に変化があった。外国と日本のマナーや国民性の違いを学び、違いは悪いものではなく、違っていいものだと思えた。インバウンドに対応するために語学力を身に付けることも必要だが、外国のことを理解することも必要だと感じた。みなさんにも、ぜひ取得してほしい検定である。少しでも外国について学ぶことで、他国との摩擦が少なくなしてほしい。」と語ってくれた。



から佃学
長、出木
浦高松短
期大学副
学長、森
秘書科学
科長、関
秘書科教

開南大学で新任の学長と国際センター長が就任されたことから、ご挨拶を兼ね、本学

開南大学と

オンライン会議を実施

3月29日、本学と台湾の間交
流協定を締結している台湾の
開南大学とオンライン会議を
実施した。

授が出席し、開南大学の林学
長、曹国際センター長と双方
の自己紹介、学長挨拶と学生
交流や教員交流等についてオ
ンラインで意見交換を行った。
協議の結果、コロナ禍が収
束するまで、先ずはオンライ
ンで学生同士が交流するなど、
情報交換の機会を増やしてい
くこととなった。

県内大学等の留学生が

オンラインで交流

3月15日、県内大学等の留
学生が、Web会議システム
「Zoom」によるオンライ
ン配信で約1時間、他大学等
の留学生と交流した。

令和3年度の
学園グッズとし
て、本学オリジナ
ルペットボトル
を作成していま
す。天然水を注入
した300mlの丸ポ
トルで、ラベルには新しい
デザインの「たーちや
ん」が登場します。どう
ぞお楽しみに！

本学から3名、徳島文理大
学から2名、香川短期大学か
ら2名、香川高等専門学校か
ら3名の計10名が参加し、自
己紹介や大学等で学んでいる
こと、コロナ禍において工夫
していること、
困っているこ
となどについ
て、情報交換
しながら交流
を深めた。



認定こども園高松東幼稚園ニュース

年長さん、ありがとう

今年も入園式は午前と午後に分かれて行われました。午前中は静かに執り行われましたが、午後は多少入園児の間にざわつきが目立ちました。無理もない事です。午後1時からの開始だったのでそれまで早めの昼の食事をとり、ちょうど眠気がさすころだったのでしょう。私がお祝いの言葉を述べる頃はざわざわの兆しがありました。

式も後半に入り在園児（年長桜組）の祝辞を迎えました。桜組さんの1クラスの子どもたちが「お祝いの言葉……」と言い始めた瞬間、なんと会場に水を打ったようにびたりと静けさが



走りしました。先程の寝苦情はどこへいったのだろうと思うほどでした。

あれ程までに3歳児の耳目を引きつける5歳児の力はどこから来るのだろうと未だに疑問が解けません。

園長 中塚 勝俊

ご寄附のお願い

本学園は、学生、園児に対する支援充実のため、ご寄附を募っております。
誠に恐縮ではございますが、皆様の温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。
★募集期間 随時受付します。
★申込方法 本学ホームページもしくはお電話にてお申込みください。
★連絡先 総務部会計課
087(841)2161

人事異動

採用（令和三年四月一日付）
【大学】保育学科教授・辻野栄一▽同助教・森本将行【事務局】会計係・佐野葉保
部局長等（令和三年四月一日付）
地域経済情報研究所長・蓮井明博▽教職支援室長・峯寛文
退職（令和三年三月三十一日付）
【大学】経営学部教授・本田道夫▽発達科学部教授・佐竹勝利
▽同教授・笠井新一郎▽同講師・津田浩二

令和2年度
満足度アンケート結果報告

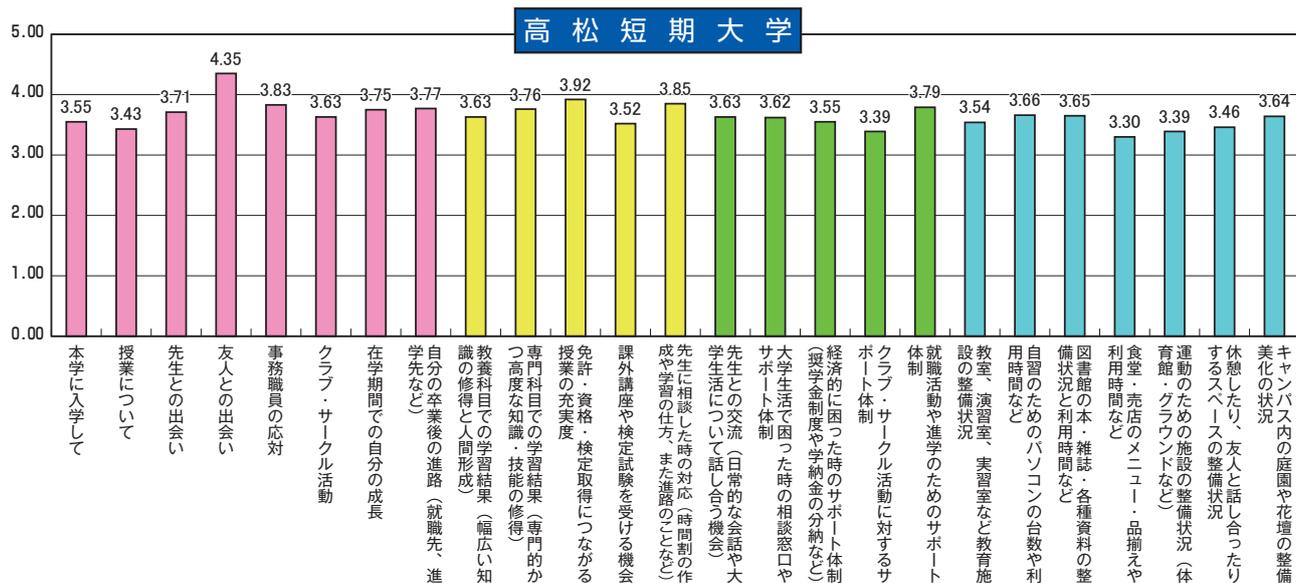
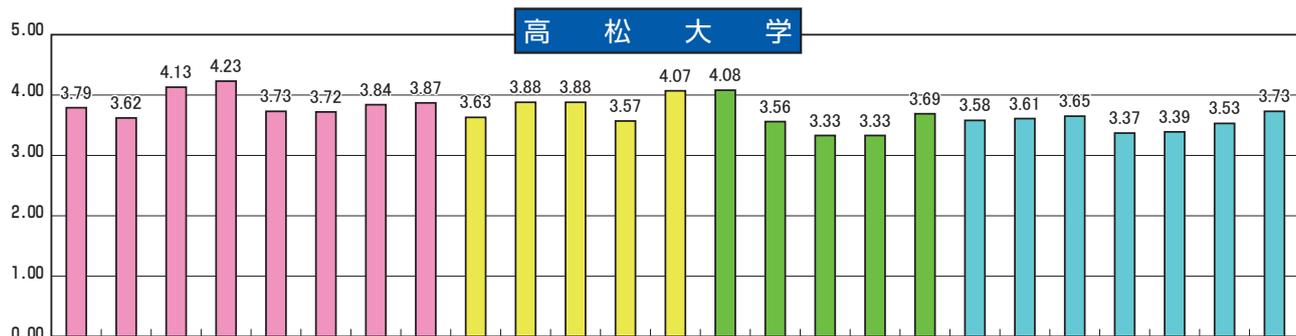
学生の在学期間内の満足度を調査することにより、教育支援と施設整備の整備ができていくかを把握し、今後の教育改善に役立てることを目的に、毎年度卒業予定者を対象に満足度アンケートを実施している。

大学・短大ともに「友人との出会い」が一番高い評価となっている。大学では「先生との出会い」など教員に関する項目の評価が高く、短大では「免許・資格・検定取得につながる授業の充実度」などが高い。

記述では、「先生が親身になってくれる」、「自分のことをわかってくれる、認めてくれる大切な仲間に出会えた」、「同じ夢を持つ友達に会えて励まし合えた」、「やりたいことに打ち込めた」、「夢を叶えることができた」などの良い意見に対し、大学に対する要望も記されていた。
こういった意見・要望を踏まえ、改善策を検討し、学生のための大学づくりにより一層力を入れていく。

満足度アンケート結果

全体 教育 学生生活 施設設備



【評価方法の説明】

- アンケートの回答方法は、「全く満足でない」、「あまり満足でない」、「どちらともいえない」、「かなり満足」、「非常に満足」の5段階で、評価値は1～5とした。
- 集計方法は、5段階評価値を平均し、その項目の評価値とした。

編集後記

☆本学では、新型コロナウイルス感染症への対応として、「新型コロナウイルス感染症に関する対応指針」、「新型コロナウイルス禍での大学生活について」を定め、ホームページに掲載しております。
新型コロナウイルス感染症予防・拡大防止のため、本学ホームページにて最新情報をご確認いただき、引き続き、感染対策にご協力をお願いいたします。
(N)

保育学科助教 森本 将行
① 学校教育学(子ども文化、保育実習指導Ⅰ・Ⅱ、保育基礎演習Ⅰ・Ⅱ、保育・教職実践演習、子育て支援など)
② 出身は奈良県ですが、大阪府と兵庫県の保育現場で15年間働いていました。趣味は体を動かすことです。

保育学科教授 辻野 栄一
① 美術(子どもと造形表現Ⅱ、芸術文化、造形表現Ⅰ等)
② 坂出身。教員とは別のライフワークとして、彫刻や焼絵を制作・発表しています。

新任教員のプロフィール
① 専門分野(授業科目)
② 自己紹介